

学校だより



かきた

<学校教育目標>

「**自分のよさ(知性・感性)を発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども**」を育成する
かしこく きよく たくましく

応援の力

校長 大澤 崇

12月、本格的な冬の到来と年の瀬の気忙しさを感じる季節となりました。

先日の持久走大会では、当日までの健康管理、子供たちへの応援や見守りボランティア等で、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。子供たちは大会に向け、自分の目標に向かって一生懸命に練習に取り組んでいました。本番も多くの保護者の方だけでなく地域の方からも声援を受けながら、子供たちは全力を出し切ることができました。

さて今回、私はすべてのレースの後走を担当しました。その中で感じたのは、「応援の力」です。第一工科大学の中井雄貴准教授は、「応援を受けることで、選手の身体的な能力や技術が直接的に作用するわけではないが、選手のパフォーマンスに影響を与えるのは確かである。」と述べています。海外で行われた研究では、声援がある場合とそうでない場合を比較し、声援がある場合には筋力が5%増強したり、動きの速さや持久力が向上したりという結果が報告されているそうです。また、中井准教授は応援する人たちにもよい影響があるとも述べています。「選手が頑張っている姿を見ることで、喜びや悔しさを疑似体験することができ、勝利の瞬間には大きな感動を味わうことができる。血液中のアドレナリンが放出され興奮状態になる。声を出すことで血行や代謝がよくなりストレス発散になる。」とのことでした。

私は後走を通して、応援を背に子供たちがギアを上げてさらに頑張る姿をたくさん見ることができました。そして、子供たちを応援する保護者や地域の皆さんの笑顔もたくさん見ることができました。御伊勢塚公園での持久走大会は、地域全体を明るくする「笑顔あふれるかすみ北」に直結する大切な行事であると実感しました。

大会は終わりましたが、これからも子供たちがさらに頑張ることができるよう、引き続き「応援」をよろしく願いいたします。

<笑顔あふれる…> abcルーム

今年度からできたabcルーム。3年生以上の子供たちが外国語を学習しています。外国語の学習は、歌を歌ったり、ゲームをしたり、ペアやグループで会話したりと、アクティビティの多い内容となっています。abcルームはいつも子供たちの笑顔であふれています。

